

# CB-01取扱説明書

このたびは当製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お客様の安全のために、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みの後は大切に保管してくださいようお願いいたします。ヘルメットの保護能力には限界があります。いかなる事故や転倒に対しても絶対に安全というわけではありません。万が一の事故や転倒の際、外部からの衝撃を低減するものにすぎません。安全で快適なバイシクルライフを楽しむためにも、以下の注意事項をよくご理解いただけますようお願いいたします。

## ご使用上の注意

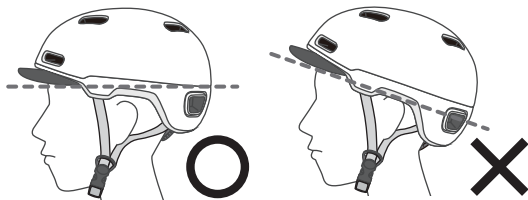


このヘルメットは6歳以上用の自転車専用ヘルメットです。使用年齢範囲及び用途に合ったヘルメットを使用してください。原動機付自転車及び自動二輪車に乗車するには絶対に使用しないでください。

- サイズの合わないヘルメットは十分な安全性能を発揮することができません。頭のサイズによく合ったヘルメットを着用してください。また、調整機構（アジャスター）の取り扱い方をよくお読みになってヘルメットを頭にフィットさせてください。
- あごひもを締めなかつたりゆるい締め方では、転倒した際などに脱げてしまい頭を保護することができません。十分な安全性能を確保するため、あごひもは必ずしっかり締めてください。また、ヘルメットの下に、帽子やフード・ヘッドフォンなどを着用しないでください。ヘルメットがずれたり、落ちる恐れがあります。
- ヘルメットは一度でも大きな衝撃を受けると、外観に損傷がなくてもその性能が低下します。すでに衝撃吸収ライナーが潰れている場合が多く、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。大きな衝撃を受けた場合は使用しないでください。
- ヘルメットの改造をすると、本来の性能が損なわれますので絶対に行わないでください。
  - ・あごひもの留め具の改造（別の留め具の使用など）
  - ・シェル（帽体）に穴をあけたり衝撃吸収ライナーを削ったり、指で押しつぶしたりするなどの改造は絶対にしないでください。
- ヘルメットの再塗装は、塗料や熱によりシェル（帽体）および衝撃吸収ライナーが侵され衝撃吸収性能が低下する恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ヘルメットの汚れを取る場合は、薄めた中性洗剤を使用して柔らかい布で拭き取ってください。ガソリン、ベンジン、シンナー、熱湯、塩水などは絶対に使用しないでください。
- ヘルメットは大切に取り扱いってください。ヘルメットを地面に投げたり、ヘルメットの上に座ったりしないでください。また、乗車時の頭の保護以外の目的に使用しないでください。
- ヘルメットは直射日光の当たる場所や高温（50℃以上）になる場所に放置しないでください。熱の影響により材質が侵され衝撃吸収性能が低下する恐れがあります。
- 経年劣化により新品時と同じ性能を発揮できないことがあるため、「購入後3年」と有効期限が定められています。

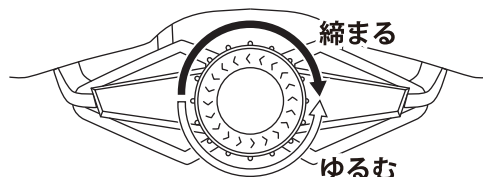
### ヘルメットの正しい着用方法

ヘルメットが水平となるよう着用してください。ヘルメットの先端がまゆ毛のすぐ上にこない場合は正しく着用できていません。



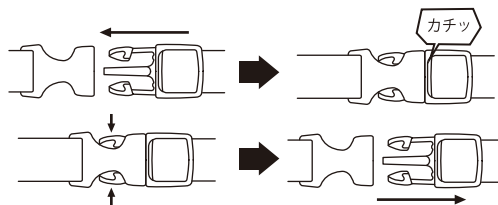
### アジャスターの調整方法

アジャスターのダイヤルを適度にゆるめてからヘルメットをかぶり、ヘルメットの前方をpushしながら、適度に締めてください。



### ワンタッチバックル

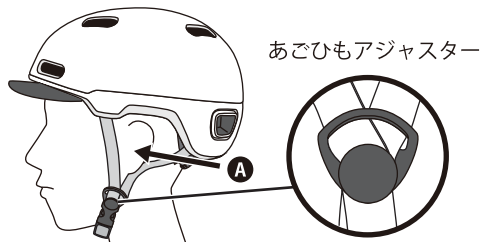
**とめ方** 「カチッ」と音がするまで、しっかり押し込んでください。  
**外し方** リリースボタンを押して外します。



## あごひもアジャスターの位置

あごひものバックルを留め、あごひもがしっかり顔の側面に沿うようあごひもアジャスターの位置を調整してください。

ヘルメットをかぶり、前後のあごひもの間(A部分)に耳が収まっていることを確認し、耳部分の片方がたるんで、もしくはきつい場合、あごひもアジャスターを移動させて耳回りのあごひもの長さを調整してください。

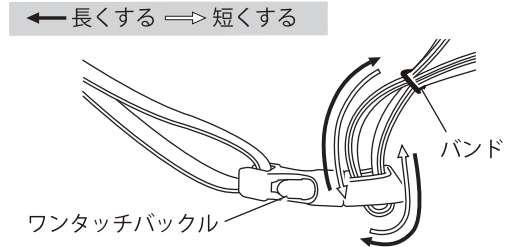


## あごひもの調整方法

1 あごひもの長さを調整し、あごひもアジャスターを動かして耳およびあごの部分にあごひもがフィットするように調整してください。

※長さはバックルを留めた時、あごとあごひもの間に人差し指1本入れられるあそびがある状態が適切です。

2 バンドの位置を動かし、余ったあごひもがばたつかないようにまとめてください。

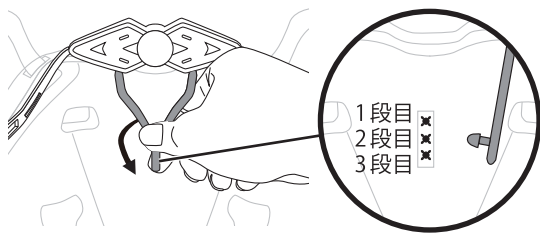


## アジャスターの角度変更

1 アジャスターの固定部を指に引っ掛けて、手前に引っ張って外します。

2 固定部をお好みの高さに付け替えます。角度が3段階に調整可能です。

※固定部を外す際は、ゆっくりと外してください。

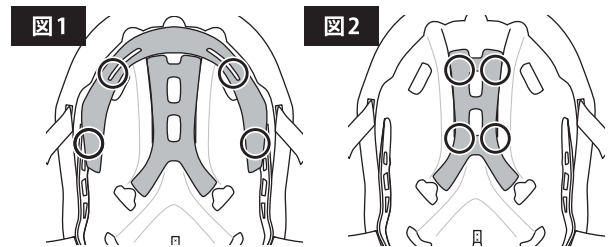


## インナーパッド

1 フロントパッドを図1の○部分で固定されている面ファスナーからゆっくりと引っ張って外します。

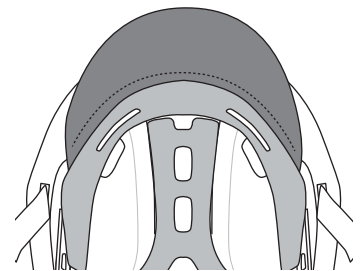
2 トップパッドを図2の○部分で固定されている面ファスナーからゆっくりと引っ張って外します。

取り付ける際は、図1の位置に取り付けます。



## フロントバイザー

- 1 フロントパッドを取り外します。シェル側のベルクローを押さえながらゆっくりと引っ張ります。
- 2 フロントパッドがあった位置へフロントバイザーを取り付けます。面ファスナーにしっかり押さえてください。
- 3 フロントパッドを元の位置に取り付けます。



## SGマーク制度について



ヘルメットに付けられているSGマークは、万一ヘルメットに欠陥があり製品安全協会の定める基準に適合していないため、装着者が身体的損害を蒙った場合に損害を賠償するものです。ただし、特殊な用途(レース、サーカスなど)に用いている際の負傷や、基準が定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷などは賠償の対象にはなりません。また、ヘルメットに付いている付属品(シールドなど)の欠陥によって発生した人身事故についても賠償の対象にはなりません。

SGマークに関する  
お問い合わせ先

〒110-0012 東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2F  
一般財団法人 **製品安全協会** ☎(03)5808-3300  
<http://www.sg-mark.org>

# CRAS

## 株式会社リード工業

〒120-0047 東京都足立区宮城1-17-21  
☎03-3912-2751 ☎03-3914-0028

